



この瞬間、一生の宝物

8月22日 わんぱくクラブサマーキャンプ(伊豆山稜線歩道ブナの原生林)

9月定例会・臨時会

2~5

令和4年度決算の認定

6~7

一般質問

10~16

議会の動き

17~19

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでもご覧いただけます。



仁科浜地区に 津波等避難施設建設

開催期間	9月5日から9月15日まで
審議した案件	町長提出議案 11件
主な議案	西伊豆町ワーケーション施設設置条例の制定 一般会計補正予算（第5号）、介護保険事業特別会計補正予算（第1号） サンセットコイン事業特別会計補正予算（第2号） 仁科浜地区津波等避難施設建設工事請負契約の締結

こんなことが、決まりました。

仁科浜地区津波等避難施設建設工事請負契約の締結

（賛成7：反対2）

問 予算4億5000万円に対して、入札予定価格が約10%減少している理由は。

答 予算では物価上昇部分を見込み計上しました。

現状は、例えば生コンクリートの単価は上がっていますが、県の設計単価は改正されておりません。今後単価改正があり、物価スライド分が適用になると工事費が増額になる可能性があります。

問 判断材料として工事内訳書を出して欲しいが。

答 従来も出していませんが、今後検討させてください。

問 杭の長さが21.79mだが、ここに支持層があるのか。

答 もっと浅い所にもありますが、引抜力に対応するために深い所の支持層までしました。

問 停電の対応策はどうなっているのか。

答 照明や扇風機、暖房器具は蓄電池で対応しますが、エアコンは稼働できません。

反対討論 契約金額の内容が示されておらず、非常時の備えも不十分であり反対。

賛成討論 津波避難困難者が数百人いる地域であり、一日も早く建設すべき。

反対討論 避難タワーは認めるが、避難施設は津波の来ないところに建設すべき。

賛成討論 津波犠牲者の減少を図るには必要な施設だ。



津波から町民を守る(旧西伊豆消防署跡地)

工事費：3億9600万円

工期：議決の翌日から6年10月31日まで

工事概要：本体は鉄筋コンクリート造、エレベーター13人乗り（ストレッチャー搬入可能）

2階部分：避難スペース（56㎡、112人収容、高さ11.0m）職員待機室、倉庫、トイレ
※普段、避難スペースは会議室として使用

屋上部分：避難スペース（171㎡、342人収容、高さ14.5m）

一般会計補正予算 (第5号)

(賛成7：反対2)

歳入歳出それぞれ3億2416万4千円を追加し、予算総額は75億2975万6千円です。

歳入の主なものは、普通地方交付税算定の決定による6801万7千円、サンセットコイン事業特別会計からの繰入金5683万円、ふるさと応援基金繰入金3906万3千円の増額と、確定した前年度繰越金3億2974万1千円を計上し、財政調整基金からの1億5078万円を減額します。

歳出の主なものは、財政調整基金・減債基金などの基金積立金1億6768万円、鷹ノ巣残土処理場改良工事2750万円、指定管理施設改修業務5809万6千円、宇久須学校前バス待合所設置550万円、賀茂給食センター改修工事600万円、月之浦井田子線測量設計業務275万円などです。

安良里地内建屋解体工事

300万円

問 寄附は解体する建物があるこの土地だけなのか。

答 併せて網屋崎の畑と山林が寄附されています。

安良里バス停隣接の建屋解体



バス利用者や歩行者の危険回避

鷹ノ巣残土処理場改良工事

2750万円

問 閉山はいつ頃の予定か。

答 12月で受け入れを終了し、来年3月末には完了したいと考えています。

問 改良工事の内容は。

答 最上段の土砂を現在埋め立てしている場所まで移動させます。排水路合流部や洗掘が心配な箇所の補修、緑化作業などです。

問 工事は倉見合同会社に任せるのか。

答 合同会社に加盟している3社の中から決定したいと考えています。

庁用器具購入費

71万円

問 何を購入するのか。

答 はんばた市場の計量器ラベルプリンターです。

反対討論 はんばた市場の計量器は劣化で故障したとの説明だが、塩水の水槽の横に電子機器を置いて使用すれば壊れるのは当然で、町が購入費を出すのは疑問であり反対。

反対討論 鷹ノ巣残土処理場改良工事は工事の進め方を、もう一度見直す必要があると考え反対。



仕事と余暇をこの施設で

ワーケーション施設設置 条例の制定

(賛成7: 反対2)

町内における多様な働き方の推進のため、ワーケーションの拠点となる施設を設置するための条例です。仕事用と休憩用のトレーラーハウスを黄金崎クリスタルパーク敷地内及び宇久須港湾海岸環境整備敷地（宇久須深田キャンプ場）内に設置するものです。

問 移住者の呼び込み宣伝が目的なら利用料金が高すぎるのではないかと。

答 民業圧迫にならないように民間事業者に合わせて料金の上限を設定しましたが、指定管理者との協議でこれ以下になることもあると思います。

問 わざわざ津波浸水区域に設置しないでいいと思うが。

答 キャンプ場はロケーションも良く、利用者も多いだろうと思い設定しました。避難場所の案内や情報をしっかりと運用します。

問 位置を指定せずに賀茂地域どこでも貸し出しするということではなかったか。

答 この条例は設置条例で、ワーケーション施設としての場所を指定するものです。

問 ワーケーションでなくても利用できるのか。

答 あくまでワーケーションとして利用する設定です。

反対討論 料金設定が高すぎるので反対。

反対討論 津波浸水域にわざわざ置くのは反対。

賛成討論 日常では地震津波のパーセンテージは少ないと思われるので賛成。



定着しつつあるサンセットコイン

介護保険事業特別会計 補正予算（第1号）

(全員賛成)

介護給付費交付金の前年度精算分200万5千円と前年度繰越金1億4637万円を、介護給付費準備基金へ1億4736万7千円、社会保険診療報酬支払基金へ過年度分100万8千円を返還するものです。

サンセットコイン事業特別会計補正予算（第2号）

(全員賛成)

国からのマイナポイント事業の過年度分補助金5683万円、ふるさと応援基金から5%増額分の繰入金及びサンセットコインチャージ料の増加による3億9600万円などの4億7485万8千円を、事業費へ4億1802万8千円、一般会計へ5683万円を繰出します。

問 過年度分補助金が入ってきたが、これが最後か。

答 5年度分はこれからです。

第2回臨時会 令和5年7月11日

西伊豆町再エネ導入戦略 策定委員会設置条例の制 定 (全員賛成)

問 住民の意見を聞く方法は。
答 アンケート（抽出）により地域再エネについてどのように認識し、どのように考えているかを調査し、進めていきます。

問 委員会の開催は。

答 今年度3回の予定です。

問 委員会の構成は。

答 大学関係者、区長会長、東京電力、観光協会・商工会、静岡銀行・三島信用金庫、環境省、県職員など15名以内を予定しています。

問 事業内容は。

答 町内で排出されている温室効果ガスの量を調査し、再生可能エネルギーの導入を図り、最終的には脱炭素の社会が構築できるか協議するものです。

第3回臨時会 令和5年8月9日

一般会計補正予算 (第4号) (賛成7：反対2)

新たな残土処分場の 測量予算が決まる

問 委託業者はどこか。国の補助金は。

答 復建調査設計(株)東京支社です。800万円のうち600万円の補助です。

西伊豆町特別職の報酬及 び費用弁償に関する条例 の一部改正 (全員賛成)

特別職に再エネ導入戦略策定委員を追加し、有識者を1日あたり7000円とするものです。

一般会計補正予算 (第3号) (全員賛成)

問 宇久須残土処分場測量の場所はどこか。

答 月原公民館山側の約5000㎡を予定しています。

なお、測量が終了しだい地区で説明会を行います。

仁科地区津波等避難施設整備事業契約を債務負担行為としたいものです。

問 なぜ今なのか。

答 今年度内に事業が終わらないと考えて、今議会になりました。

問 競争原理が働くように工夫してほしいがいかがか。

答 できるだけ努力します。

人権擁護委員候補者の 推薦 (全員賛成)

任期満了に伴い、2名の方の再任について同意しました。



かねざし たかひこ
金刺 貴彦氏 (中)



やまもと あきよ
山本 昭代氏 (仁科)

反対討論 津波の来ないところに建ててほしい。

賛成討論 施設整備事業そのものは、すでに予算承認されているので、賛成します。

※債務負担行為とは

契約は今年度中に行うが、支出は次年度以降になりそうなものをあらかじめ認めておくものです。

令和4年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計 4億2974万2千円の黒字

歳入総額98億6323万5千円、歳出総額92億2537万3千円

繰越明許費（来年度に残すべき事業費）2億812万円

サンセットコインで決済される額が大幅に増えたため、決算総額は約10億円拡大

一般会計 (賛成5：反対4)

問 ふるさと応援寄附金が2年連続して減少している理由は。

答 2年度は新型コロナウイルス感染症まん延による巣ごもり需要により、干物などの冷凍食品を返礼品にする寄附が一時的に増えました。

また、当町で需要の高い干物などが近隣市町でも出回るようになったことも減

少した要因です。

問 ツッテ西伊豆のコストパフォーマンスは大変低いが。
答 観光誘客の投資と考えてください。

問 松崎高校の進学者を増やすために、高校生給付型奨学金は見直す必要があるのではないかと。

答 今後検討する必要があると考えます。

反対討論 文教施設整備は答申に示された課題を履行せ

ず計画を進め頓挫し、多大な賠償金を支払うことになった。これを検証せず責任をとらないので反対。

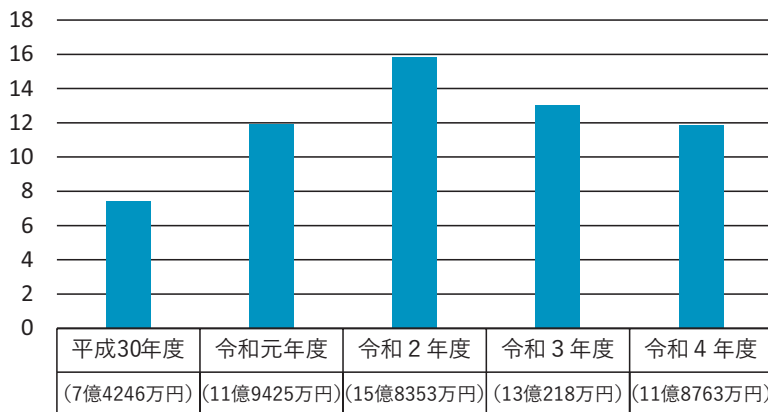
賛成討論 不認定にしてもおかしくない点もあるが、本年度予算の執行や来年度予算編成に十分に生かされることが見込まれると判断し賛成。

反対討論 文教施設整備は裏づけ調査が必要だったが、それが抜けたことにより、避けられた可能性のある無意味な6000万円以上の支出があった。また効果の検討が十分でないまま実施した事業があり反対。

賛成討論 文教施設建設中止の賠償金は、見込みの甘さによる落ち度ではあるが、これが4年度のすべてを否定するにはあたらず、他の事業は適正かつ計画的に健全になされたと考え賛成。

単位：億円

ふるさと納税寄附額推移（過去5年間）



減少傾向にあるふるさと納税

国民健康保険特別会計 2845万9千円の黒字

歳入総額12億1701万9千円、歳出総額11億8856万円

後期高齢者医療特別会計 61万2千円の黒字

歳入総額3億2591万5千円、歳出総額3億2530万3千円

介護保険事業特別会計 1億4637万1千円の黒字

歳入総額14億1158万6千円、歳出総額12億6521万5千円

国民健康保険特別会計

(全員賛成)

問 歯科の1人当たり費用額が県内最下位であるが、良いことなのか。

答 一人当たりの費用額は低い方が良いのですが、歯が健康で低いのか、歯の健康にかかわらず歯科を受診していないのかは、一人一人の状況を探っていないとわかりません。

後期高齢者医療特別会計

(全員賛成)

問 人口に占める後期高齢者の割合は。

答 およそ31.5%です。

問 団塊の世代が後期高齢者になりつつあるが、今後の被保険者の見通しは。

答 人口は減っていますが、被保険者は増えてくる見込みです。

介護保険事業特別会計

(全員賛成)

問 3年度までは減少傾向だった保険給付費が増えてきているが、今後の見通しは。

答 介護療養型医療施設が今年度末までに単価の高い介護医療院に転換し、利用者数の伸びに比べて金額の伸び幅が大きく、今後は給付費が増える見込みです。

水道事業会計 当年度純利益1067万円

営業収益1億7163万6千円、営業費用1億7616万2千円、

営業外収益1596万1千円、営業外費用76万5千円

温泉事業会計 当年度純利益736万3千円

営業収益8056万9千円、営業費用7427万8千円、

営業外収益74万6千円、営業外費用0円、特別利益32万6千円

水道事業会計

(全員賛成)

問 水道事業財政の改善を図るため、1億円の投資を始めた。条件としては、運用期間10年、利率年1.6%ですが、運用益は、いつ入り、課税後の実質入金額は、どのようになるのか、また中途解約した場合の元本割れの可能性はないのか。

答 毎年7月と翌年1月に入金されます。公営企業会計は、非課税のため年間160万円の入金があります。途中解約については、その時点の市場価格となりますので元本割れの可能性はあります。

問 動力費の増加率が水道事業と比較し低く抑えられているがその要因はどのようなことか。

答 水道と違い、温泉の動力は、重油も使用しています。重油の高騰がそれほど大きくなかったことや温泉の温度管理をこまめにしたこと、動力費の削減ができたと思います。

温泉事業会計

(全員賛成)

監査委員からの提言

令和4年度 監査委員意見（抜粋）

監査委員 鈴木宏男・山田厚司

一般会計

国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険事業特別会計

審査結果

決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。更にその内容について担当課長（局長）等の説明を受け審査を実施した結果、内容も正当なものであった。

指 導 事 項

各課（局）共通

監査調書の作成にあたっては、記載誤りを防ぐために、監査調書の提出前に内容を十分に確認をすること。また、記載された数字の根拠となる資料は用意しておくこと。

各課（局）別

総務課

管理職による人事評価は大変重要な事項なので、研修を通じて評価の統一を共有していただきたい。

環境課

広域ごみ処理及び斎場整備について、長年の懸案事項であるが、早期実現ができるように要望する。

教育委員会

学校等再編計画が白紙となり、子どものためにも早く話をまとめて進めていただきたい。



代表監査委員の報告

水道事業会計

水道は、住民の生活を支える重要な事業であり、その安定的な運営は当町の基幹産業である観光産業にとっても最重要要素の一つである。4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響から回復傾向にあり、純利益は増となっているが、高齢化や少子化、人口減少といった流れは進み、今後も利用者の継続的減少による収入減が懸念され、経営環境は年々厳しくなると推測され、それを踏まえて経営に当たらなければならない。経営の安定化と安全な水の安定供給の維持を引き続きお願いしたい。

温泉事業会計

観光立町である当町にとって温泉は欠くことのできない資源である。社会情勢の影響による燃料費の高騰やサービス需要の減少及び保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大など厳しさを増している。このため、施設の維持管理を徹底させ長寿命化を図り、温泉配湯施設の整備を計画的に実施し、安定的な配湯と継続的な事業運営を引き続きお願いしたい。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
第2回臨時会	再エネ導入戦略策定委員会設置条例の制定 [計画策定に伴い委員会を設置するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 [新たに委員報酬を追加するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和5年度一般会計補正予算(第3号) [1220万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	人権擁護委員候補者の推薦(2名) [任期満了により再任するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
臨時会 第3回	令和5年度一般会計補正予算(第4号) [2億7530万円を減額するもの]	○	○	○	—	×	○	○	○	×	○	可決
9月定例会	ワーケーション施設設置条例の制定 [ワーケーション拠点施設を設置するもの]	○	○	×	—	×	○	○	○	○	○	可決
	令和5年度一般会計補正予算(第5号) [3億2416万4千円を増額するもの]	×	○	○	—	○	×	○	○	○	○	可決
	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号) [1億4837万5千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和5年度サンセットコイン事業特別会計補正予算(第2号) [4億7485万8千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	令和4年度一般会計決算認定	×	×	○	—	○	○	○	○	×	×	認定
	令和4年度国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	令和4年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	令和4年度介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	令和4年度水道事業会計決算認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
	令和4年度温泉事業会計決算認定	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	認定
令和5年度仁科浜地区津波等避難施設建設工事請負契約の締結 [工事費3億9600万円で契約するもの]	○	○	○	—	×	○	○	○	○	×	○	可決

議長(堤 豊)は採決に加わりません。



まつだ たかひろ
松田貴宏 議員

事務事業評価の充実は (町長) 公表についても検討

質問 行政の活動が何を、何ができて、何ができなかったのか、住民に説明する責任が町にはある。当町も、事務事業評価を充実させる必要があると思うが。

町長 決算に付随した、事業実績及び主要施策の成果説明書があり、事業ごとに主な支出、どのような活動をしたのか、その結果として、どのような成果があったかなどを記載していますが、事務事業評価資料として分かりやすい資料の作成に努め、住民への公表についても検討していきたいと考えます。

質問 町のホームページで見られるとよいと思うが。

総務課長 ホームページでの公開なども含め、今後検討していきたいと思います。

質問 県立高校の在り方を検討する会議において、松崎高校を、西伊豆・松崎両町の組合立とすることを検討したいと提案したそうだが。

町長 グランドデザインを作る方向なので、サテライト制1本に絞られることなく、他の案も考える時間をいただけないかと申し上げました。県教育長から、もし具体的な提案があればということでしたので、組合立学校を提案しました。何か既に明確なものが決まっているものではありません。

質問 町は組合立の学校について調べているが、都道府県立から市町村立になった学校を調べるべきでは。

町長 残念ながら松崎高校の所在地は松崎町です。西伊豆町にあれば、町立ということは考えられますが、他町の敷地内にあるものを、西伊豆町立にはできません。そうするとやはり組合立ということしか、私の発言はできません。その辺はよくご理解いただいた上で、質問してください。

松崎高校の組合立は

他の案も



どうしたら地元に残せるでしょうか？(写真は現在の松崎高校)

宇久須浜区の津波避難タワーは (町長) 建てなければいけないと認識



たか はし けい じ 議員
高橋敬治

質問 「津波避難対策緊急事業計画」による避難タワーなどの建設で想定犠牲者約4300人はどこまで減少したのか。

防災課長 3月末試算で約528人、88%の減少、7月完成のタワーを加えると約277人、94%の減少です。

質問 宇久須浜・柴区からの避難タワー建設の要望は。

町長 用地の問題などがありますが、浜区には1基建てなければいけないと認識しております。

児童クラブの昼食提供は

宅配弁当も可としている

質問 「放課後児童クラブ」の夏休みの昼食は弁当持参だが、利用者から改善を求める声があるが。

町長 「子ども・子育て会議」で提案があり、宅配弁当を頼むことも可としています。

質問 宅配も利用できることは半歩前進だが、学校給食センターを使うことで提供はできないか。

町長 費用対効果を度外視すれば可能ですが、財政負担を考えなければなりません。

質問 こども園からの提供は。
教育委員会事務局長 調理の時間帯や運搬などの面で課題があります。

質問 福祉、介護や教育など町内の働き手が不足している中、子育て中の保護者負担を軽減し、目一杯働いていただくために、さらに検討を進めて欲しいが。

町長 願わくは私も一保護者として導入したいですが、町がリスクを負ってまでは厳しいと考えています。

賀茂小学校区での開設は

意欲はあるが見込めない

質問 統合が決まった賀茂小学校区に児童クラブの開設はできないのか。

町長 意欲はありますが現状では見込めません。

支援員や空き教室の確保が難しく開所には至っておりませんが、来年度から2校になることに加え、マイクロバスも導入されるので、ニーズを把握したうえで町での送迎を含めて検討したいと考えています。



一人でも多くの犠牲者を減らす津波避難タワー（宇久須下月原地区）



あさかもと き 浅賀元希 議員

井野水源活用の時期は

(町長) 12年度着工で計画

質問 新水道ビジョンでは、「安全」「強靱」「持続」の観点から将来を見据えた具体策を立てるとあるが、3つの観点からの課題は。

町長 安全の観点は、課題はありません。強靱の観点は、耐震化が必要だが財政状況により、計画的に進まない可能性があります。持続の観点は、数年後単年度収支で赤字が予想されるため、水道料金の改定です。

質問 田子地区の水は、仁科の水源から配水しているが、既に実施した井野水源の調査で田子地区の配水量を確保できることが確認できている。現在使用している施設は、老朽化が進んでいることや、遠距離での配水では、地震の被害リスクが高まるため早期に井野水源活用を考えるべきだと思うが、活用の時期は。

町長 現段階では、10年に基本計画、翌年詳細設計、12年度着工で計画しているところ です。

質問 宇久須地区は、以前から水質が悪くなく、水道施設に悪影響を及ぼしていると言われている。毎年多くの住民の方が健康診断を行っているが、体への影響について宇久須地区住民の方に特筆すべきデータは表れていないか。

健康福祉課長 健診結果をみる限り宇久須地区だけ何か特筆された病気などが多いという傾向は、ありません。

移動販売事業者支援

商工会からの要請で

質問 新たに移動販売を開始した事業所に支援を考えていただきたいが。

町長 本来であれば、町から支援をすれば良いのですが、1事業所への支援は難しいため、商工会などを通じて山間部移動のガソリン代の要請があれば検討します。

質問 移動困難な方に対し、いろいろな活動をしていただいているが、町に現状把握と連携強化を望むがいかがか。

健康福祉課長 介護保険の方で、ボランティアやタクシー事業者と協議を行い、実態把握に努めています。



老朽が進む井野浄水場

斎場建設の整備計画はいつできる

(町長) 今年度中です



ます やま いさむ
増山 勇 議員

質問 松崎町との協議は。

町長 6年度中に新たな組合を設置する準備をしている中で、早期の施設完成に向けて協議を進めています。

西伊豆町と松崎町にはすでに西豆衛生プラント組合がありますので、その組合に組み込む方法などを含めて現在検討しているところです。

質問 松崎町と協議を早くできないのか。

町長 今年度に発注した建設整備計画が作成中でまだできていません。詳細について松崎町と詰めることはできません。

質問 建設整備計画は、いつできるのか。

町長 今年度中に出て来ると思います。

田子地区の要望は

区長との話し合い

質問 7月11日の田子地区での説明会の受け止めは。

町長 ある程度ご理解をいた

だいたいのものと考えています。最終的な協議は各地区長さんで行います。様々なご意見があるのでここでの答弁は控えます。

斎場建設を急げ

9年4月稼働

質問 斎場建設は、早く建設をとの声が多数である。

4年度の監査報告書にも早期実現を望むとの記述があるが。

町長 これまでの説明会で田子地区に2施設はどうかと

の意見がありました。広域ゴミ施設が2年延びることから斎場建設と重なることも理解を求めの中で、やるなら早く建設せよとの強いご意見をいただきました。

質問 松崎町との協議会を早めること、区長との協議も具体的な合意を進めることを再度要望する。来年度予算に建設費用を計上できないか。

町長 最短で9年4月稼働を目指して進めていきます。物事には段階的なことからもあります。しばらくお待ちください。



7月11日に行われた田子地区での住民説明会の様子



つみ 堤 かず お 和 夫 議員

文化財に対する考え方は (町長) 後世に伝承していく重要な資料

質問 西伊豆町の成り立ちを後世に伝えるためには、今まで収集された文献や文化財を整理整頓して分類し、町資料館として残す必要があると考えるが、文化財に対してどのような考えを持っているのか。

町長 先人の方々が長年にわたり、時間をかけて調査研究してまとめ上げられたものであり、当町の成り立ちを後世に伝承していくための、大変重要な資料だと考えています。

教育長 昔の暮らしぶりを知ることが、郷土への関心を高めることができるので、大切にしたいと思います。保管しておくだけではなく、多くの町民が見ることができるよう工夫をして行くことが必要だと思います。

質問 文化財の管理は。

教育長 指定文化財については、所有者が管理をしています。有形民俗文化財などは旧田子中学校や田子公民館に保管されています。

質問 文化財の展示促進は。

教育長 仁科川河床遺跡、田子中学校遺跡は出土品が多く、展示まで至りません。

自動運転実証実験参画は

電波が届かないので無理

質問 自動運転実証実験への参画は。

町長 当町は、携帯電話の電波が届かない山間地が多いので、松崎町が選定されたと聞いています。

質問 駿河湾フェリーの田子漁港寄港は。

町長 現在関係者と協議中で、

周辺整備などに関してはお答えできません。

生ごみ堆肥化試験は

回覧で町民の皆様に周知

質問 町内で排出される生ごみ（水産加工残渣含む）の堆肥化の試験は、実証実験の候補地も選定され、実施段階になっているが、もっと情報を開示しては。

町長 鹿児島県大崎町のSDGs推進協議会と、生ごみ堆肥化試験実施を協議し、回覧で町民の皆様に周知をさせていただきました。



文化財資料館を旧田子中学校に！

Uターン促進に 返還免除条件つき奨学金制度を

(町長) 創設を前向きに行いたい



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

質問 人口減少が著しいが、第2期総合戦略では2040年の目標人口は4458人とある。達成見込みがあるのか。

町長 2年の国勢調査を基に第3期総合戦略では目標人口を下方修正します。

質問 人口減少対策として移住促進策は重要だが、移住希望者への支援体制はどうなっているのか。

町長 新たに国の地域プロジェクトマネージャー制度を使って地域おこし協力隊や移住希望者に寄り添える支援を行います。

質問 住環境の整備はどんなことをやっているのか。

町長 集落支援員制度を利用して空き家調査をし、空き家所有者へのアンケートを準備中です。

4年度には空き家情報バンクへの登録が14軒、そのうち2軒ずつ売却と賃貸が成約しました。空き家改修等補助金を有効に活用していただきたいと考えます。

質問 UターンやIターン、

Jターンの促進に返還免除条件をつけた奨学金制度を設けたらどうか。

町長 学ぶために一度町を出ることは止められません。今までと同じことをしても移住は増えませんので、創設について前向きに行いたいと考えます。

まちづくり課長 地域に定住する人材を確保するための制度を支援する国の制度がありますので、それを活用して町の負担を軽減し制度を構築していきたいと考えています。可能な限り早めに創設したいと考えます。



がんばる移住者さん、ありがとう

雇用創出は

従業員施設の改修を

質問 雇用創出は重要だが、町の主産業である観光業の立て直しは。

町長 雇用維持に従業員寮の改修が必要と考え、県に補助を要望しています。

質問 人手不足は観光業だけではない。多様な職種の就労者用の施設にできないか。

町長 町としては幅広く事業体に声をかけ旗振り役をやりたいと考えています。



せり ざわ 孝 議員

水道料金の値上げは何%くらい (町長) いくら上げるかの指示はしていない

質問 水道の収益が減少して水道料金の改定を水道委員会に諮問しているが、いまだ合併後料金統一されていない。住民感情と公平性を考えれば、料金統一と基本料金・超過料金の改定で、今後10年間は料金改定が必要ない金額設定に押さえるのが良いと思うが、今回値上げをする場合何%くらいを考えているのか。

町長 水道委員会の中で、いろいろな案を模索して、落ち着くところに落ちついたものを答申として出させていただくということで、今検討されています。

町のほうからはどれだけ料金を上げるかなどの指示は出していません。

企業課長 何%と言う数字は町のほうは持っていません。水道委員会には何年まで赤字にならないなどの全ての資料を提供して、検討をしていただいておりますが一切具体的な案は出していません。

住民の理解を得る努力は

今はその段階ではない

質問 事業計画では、住民の水道事業に対する意見・要望を把握して事業を進めるとしているのだから条例改正を議決する前に住民の理解を得る努力をすべきではないか。

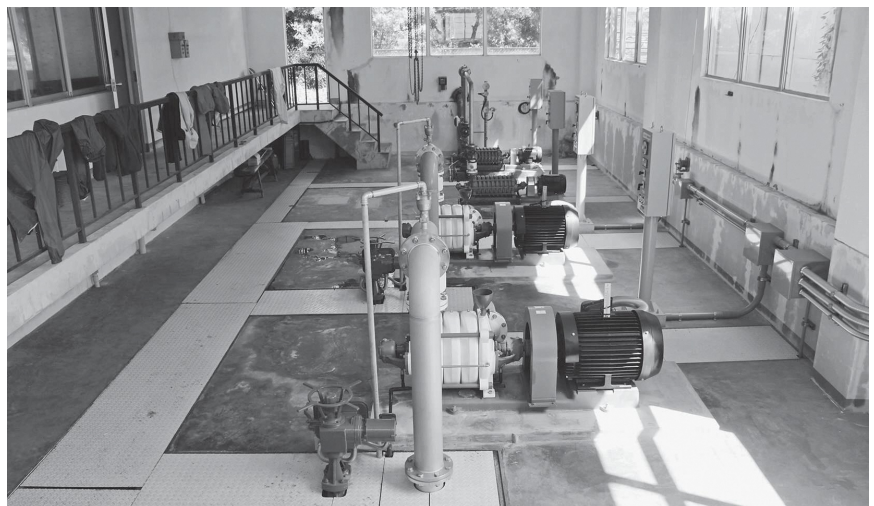
町長 水道委員会の答申が出ましたら、その中身については、住民の皆さんに公示する必要はあろうかと考えますが、今はその段階ではありません。

基幹管路の耐震化は

目標達成は出来ない

質問 国は2025年までに水道基幹管路の耐震適合率54%を求めているが、当町は、17%と低い。なぜ耐震化が進まないのか。

町長 事業資金を考慮しながら、計画的に事業を進めている中で、送配水施設の耐震化を優先的に施工していますので、基幹管路は後計画となり2025年には耐震化適合率の目標を達成することはできません。



送配水設備老朽化などで更新⇒整備費増⇒利用者負担増

議会の動き

第 1 常任委員会報告

会計課

8月8日に会計課の所管事務調査を行いました。

出納業務の実態

昨年度の定例会において、支払伝票はすでに担当課長が確認して決裁しているとの説明がありました。

このことについて、今回の所管事務調査であらためて尋ねたところ、指摘があったものについては、会計課で確認しているとのことでした。

出納については、会計課のもっとも基本となる業務ですので、会計管理者という職が置かれている意義を今一度認識し、間違いのないように業務を遂行してもらいたいと思います。

今後の債券運用

町では、財政調整基金のうち10億円を上限に債券で運用しています。現在は東京電力パワーグリッドの社債を投資先としています。

債券は満期まで保有していれば、額面を下回ることはありませんが、満期を迎える前に売却すると損失を出すことがあります。もし、災害などで急に現金が必要になったときに、保有している債券の市場価格が元本割れしていると、債権を売却したときに損失が出てしまいます。

そのリスクを軽くするために、基金を一括し

て運用したいとの提案がありました。

現在は、急に財政調整基金を債券も含めて取り崩さないといけないことがあると、たとえ含み損があっても債券を売らなければいけません。これが、それぞれの基金に属する現金を、一つの資金として一括に運用すると、とりあえず必要な現金を確保しながら、債券の損失を確定させないで済む可能性が高くなるメリットがあります。

利益や損失が発生したときに、どのように各基金に分配するか、基金の性格を考慮して一括運用する範囲をどのようにするか、など考慮しなければいけないことがまだあるので、委員会として基金の一括運用は今後検討することにしました。

公会計の電子決裁

今年度から、公会計の電子決裁が始まりました。書類にはんこを貰って決裁を受けていたものが、システム上で処理できるようになりました。

監査委員からたびたび指摘を受けていたはんこの押し忘れがなくなったり、決裁がどこまで進んでいるのか簡単に確認できるメリットがあります。

また、データはクラウド上のサーバーという、役場の外のコンピュータで管理するので、文書の保管期間はほとんどが5年ですが、10年分くらいは保存できる容量が確保され、役場が津波などの被害にあってもデータは容易に復元できます。

効率よく仕事を進めて、住民の福利につながればと思います。

総務課

8月8日に総務課の所管事務調査を行いました。

難しい職員の採用

当町に限らず、他の市町や国、県でも職員の確保が難しくなっています。また、以前は定年まで勤める方が多かったのが、早いうちに退職する方が増えています。

町では、町外出身者の採用が増えていることもあり、定着のために採用から3年までは、家賃が毎月6万円までならば町でアパートを借り上げています。

定着を考えると町内出身の方が良いかと思いますが、町内も人口が減っていて役場を受験する人が少なく、西伊豆中学校や松崎高校で役

場の仕事を話しに行って、採用試験の受験者が増えるように努めています。また、町外に進学などで出た人たちが西伊豆に帰ってきたいと思える町づくりの必要性を、町では感じているようです。

町外出身者についても、国際ボランティア学生協会（IVUSA）からのインターンシップを受け入れており、IVUSAで活動していた方が、採用試験を受けて職員となり、活性化につながることを町では期待しているそうです。

良い職員が多くいることが行政サービスの向上につながります。また、職員の育成には手間とお金がかかっています。人口減から採用はますます難しくなりますが、これからも採用は大切な業務として取り組んでいただき、併せて育てた人材の定着にも努めていただきたいと思います。

第1常任委員長 松田 貴宏

静岡県市町議会議員研修会

8月17日に静岡市の「グランシップ」で開催されました。

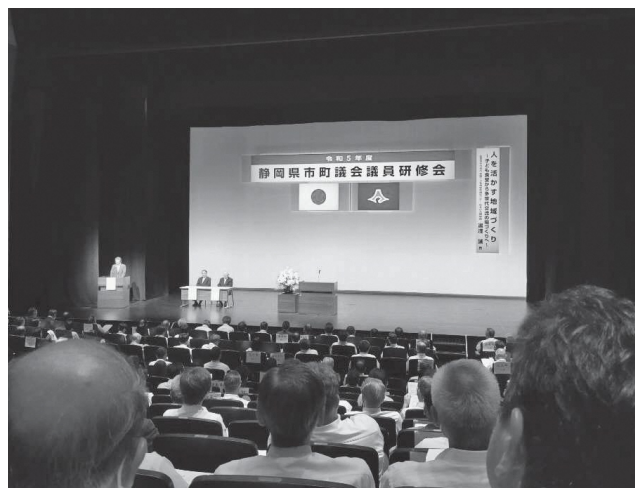
「人を活かす地域づくり～子ども食堂から多世代交流の場づくりへ～」と題し認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠氏にご講演をいただきました。

貧困対策として語られることも多い「子ども食堂」について、そもそもの意義として、貧困に限らず、子どもに限らず、多くの人が集まって一緒にご飯を食べようというものなのだそうです。多くの子どもと大人が関わることで、子どもの居場所になっていきます。

民間の自主的自発的な活動のため、活動資金が決して潤沢ではない子ども食堂の運営団体が多いそうです。議員研修会なので行政による支援の仕組みを、と思いがちですが、民間発だからこそできる取り組みがあります。住民が町づ

くりの中心になる環境を作ることこそが、議会の仕事ではないかと思いました。

第1常任委員長 松田 貴宏



東から西から多くの議員が集まりました

第 2 常 任 委 員 会 報 告

まちづくり課

7月3日にまちづくり課の所管事務調査を行いました。

行っている様々な事業

(1) 地域再エネ事業

国の施策である2050年までの脱炭素社会の実現を見据え、町内における再エネ導入目標や地域脱炭素の実現に向けた具体的な施策などを取り入れた計画を策定するものです。

予算額 1039万3千円（補助率3/4）

(2) 黄金崎公園エリア整備計画事業

「美しい海とガラスと夕陽を楽しめる黄金崎公園エリア」をコンセプトに下記の事業を実施します。

※黄金崎クリスタルパーク改修

※黄金崎公園芝生広場公衆トイレ改修

※黄金崎公園遊歩道改修

(3) 東アジア文化都市2023静岡県事業

文化事業の県の考え方は、一般的な文化芸術活動に限定されるものではなく、スポーツ、食などを通してその価値や魅力を国内外に発信できる事業とのことから、その一つとして町では、にっぼん丸や飛鳥IIの船上で食材提供を行います。

(4) ふるさと納税の現状

寄附額は、5月末までの状況では、昨年度を下回っていますが、これから返礼品などに工夫をこらし寄附額の増加に努めていきます。



開発が待たれる黄金崎公園

環 境 課

7月13日に環境課の所管事務調査（第1常任委員会合同）を行いました。

抱える3大課題の状況

(1) 旧賀茂清掃センターについて

施設の状況を視察しました。すぐに崩壊する恐れは感じられませんでした。清掃センターは、平成19年5月に廃止されてからすでに16年が経過し、いつまでも放置しておくわけにはいきません。担当課では解体に有利な補助金を模索しています。

(2) 南伊豆地域清掃施設組合の体制及び業務

本年4月より組合が設立され当町から議員2名が組合議会に、職員1名が事務局に派遣され、業務を行っています。これまで連絡調整会議（担当者会議）、運営会議（首長会議）をそれぞれ1回開催しました。また6月は臨時議会が開催され、8月は、定例議会が開催予定となっており、10月には環境影響調査が終了することとなっています。

(3) 新斎場建設の進捗状況及び今後について

建設候補地となっている田子地区で住民説明会をこれまで8回開催しています。今後は、地区要望の確認、現地状況調査、基本計画策定後の実施説明を計画しています。また委員会では、伊豆の国市の斎場視察を10月に計画しています。

第2常任委員長 浅賀 元希



放置するわけにはいかない旧賀茂清掃センター

議会ってどんなところ？

9月定例会は決算認定が中心です。会計は4月1日から翌年3月31日までと1年間で区切りますが、町は8月31日までに前年度の収入支出を集計し、結果を9月定例会で報告します。

9月7日朝、会計課長が「令和4年度一般会計・特別会計決算書」の各項の歳入と歳出を読み上げるところから始まります。そしてその後、「事業実績及び主要施策の成果説明書」を各課長が読み上げ、議員と質疑を交わすことを次々と繰り返します。300頁にならんとする成果説明書と全ての収入支出が記されている決算書を丸々3日間かけて審査しました。各課長の準備には目を見張るものがありますが、議員は体力と集中力の勝負です。まとめ作業を挟んで最終日に討論、採決となります。今号6,7ページで報告しています。このコーナーではそこで使われている言葉を2つご説明します。

決算って？ 決算認定って？

決算とは一年間の予算に対する実績です。町の監査委員は計算書を審査し意見書を提出します。そして議会は意見書、決算、「主要施策の成果説明書」の提出を受けて審査します。ちゃんと税金は徴収しているか、補助金をしっかり確保しているか、計画的に支出されているか、十分努力しているか、などなど。予算がその趣旨と目的に従って適正に、効率的に執行されたか、それによってどんな効果があったのかを評価します。単に批判にとどまらず、次年度の予算編成や施策に役立ててもらいたい一心での認定審査です。もう少しすると、町のホームページで財政状況を見ることができます。



一般会計と特別会計って？

一般会計は、町税と国や県からいただくお金をもとに、教育や福祉、道路整備など基本的な町の仕事を行う会計です。それに対して介護保険など特定の収入をもとに、特定の事業を行うものは特別会計として別に管理されます。町には、3つの特別会計が設けられています。またこれとは別に、企業会計というものがあります。使う人が料金を負担する水道や温泉で、基本的には独立採算の収益事業です。いずれも一般会計と一緒にすると分かりづらいので、別にしてお金の流れを透明化し、管理しやすくしています。

4年度の一般会計の決算額は前年より約10億円も増えています。いったいどうしたの、とよく見ますとサンセットコインの利用が前年の約2億円から15億円に増えたことによるものです。ああ、そういうことか。このままでは一般会計の本質が見えにくいですし、サンセットコイン事業もすっきり把握することが難しくなります。なので、5年度からはサンセットコイン事業は特別会計として別建てになります。

広報編集委員長 仲田 慶枝

令和5年10月13日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号の感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962